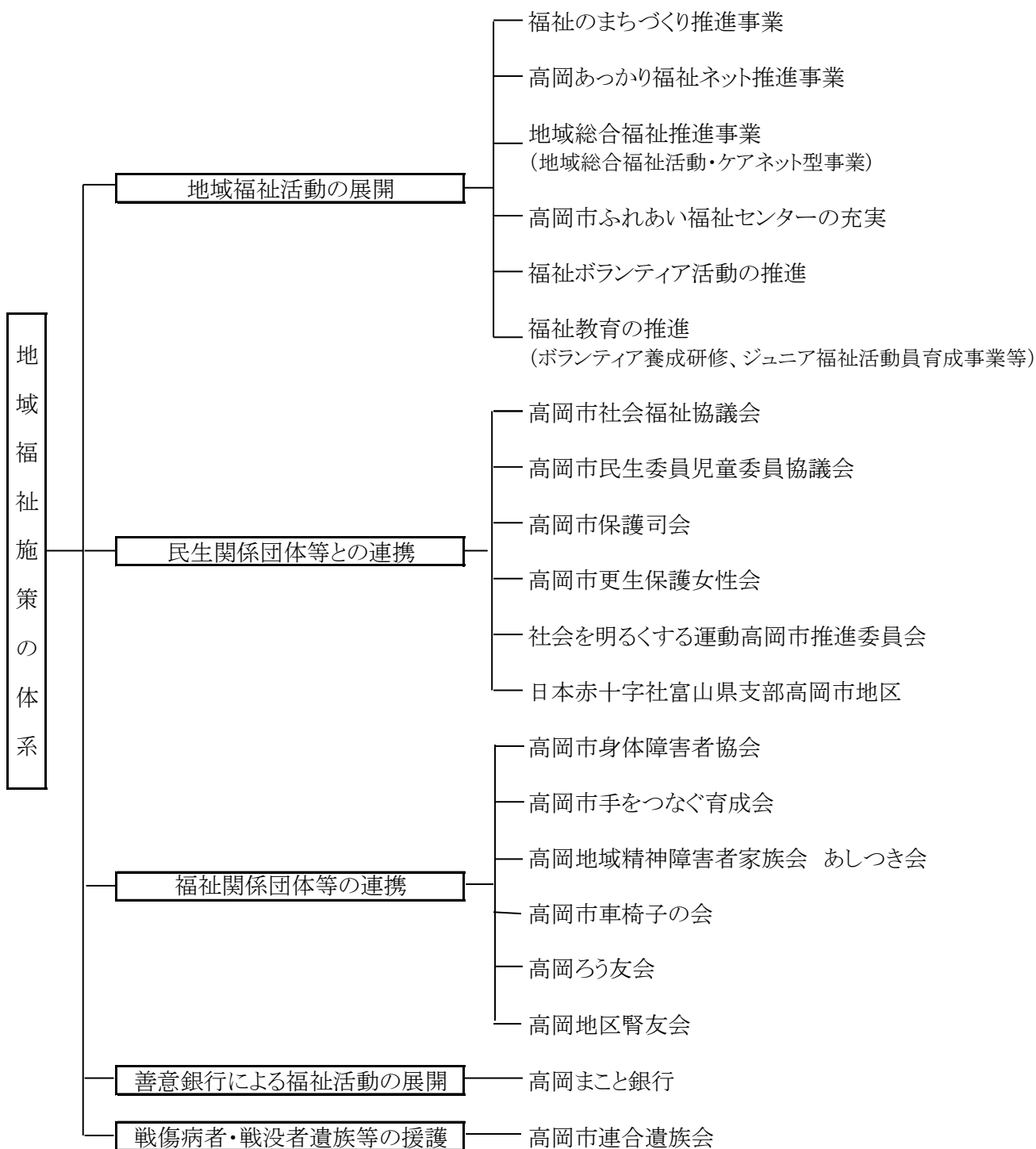


第 2 章 地域福祉活動を推進するために



1. 福祉のまちづくり推進事業

平成17年11月に「高岡市福祉のまちづくり条例」を制定し、高齢者、障害者、児童をはじめすべての市民が住み慣れた地域でともに支え合いながら、こころ豊かで生きがいを持ち、安全で快適に暮らすことのできる「人間尊重の福祉都市」の創造をめざし、福祉の視点に立った総合的な施策の推進を図るとともに、市民・事業者・行政が一体となって福祉のまちづくりに取り組んでいる。

高岡市福祉のまちづくり条例の概要

◆ 基本理念

福祉のまちづくりの基本理念として、次の3つの柱を掲げています。

- ①すべての市民の人間性が尊重されるまちづくり
- ②すべての市民の自立と社会参加が可能なまちづくり
- ③「ともに生きる」という考えに立って行われるまちづくり

◆ 施策の基本的方向

ソフト・ハード両面にわたる施策を総合的に推進するため、3つの基本的方向を定めています。

- ①福祉コミュニティ基盤の形成
- ②生活・都市施設のバリアフリー化
- ③ボランティア活動の振興

◆ 福祉に関する施策の推進(ソフト部門)

「ともに生きる」という考えに立ち、思いやりのこころをはぐくみ、助け合い、支え合うまちづくりをめざします。

○保健・医療・福祉施策の総合的な展開

総合的な福祉サービスや子育て支援システムを充実させ、福祉人材の養成等を行います。

○自立と社会参加の促進

生涯学習や生きがい対策を推進するとともに、必要な情報の提供や就労機会の創出を図ります。

○福祉のこころの醸成

思いやりや助け合いのこころを高めるため、家庭・学校・地域社会で福祉教育の実践に努めるとともに、ふれあいのある市民交流活動を促進します。

○ボランティア活動の振興

地域のみなさんの理解と協力のもとに、住民参加による小地域福祉活動の積極的な展開を図ります。

◆ 生活・都市施設の整備(ハード部門)

高齢者、障害者、児童をはじめ妊産婦や乳母車を押している人など、誰もが安心して快適に利用できる障壁のない施設づくりを進めています。

○生活・都市施設のバリアフリー化の推進

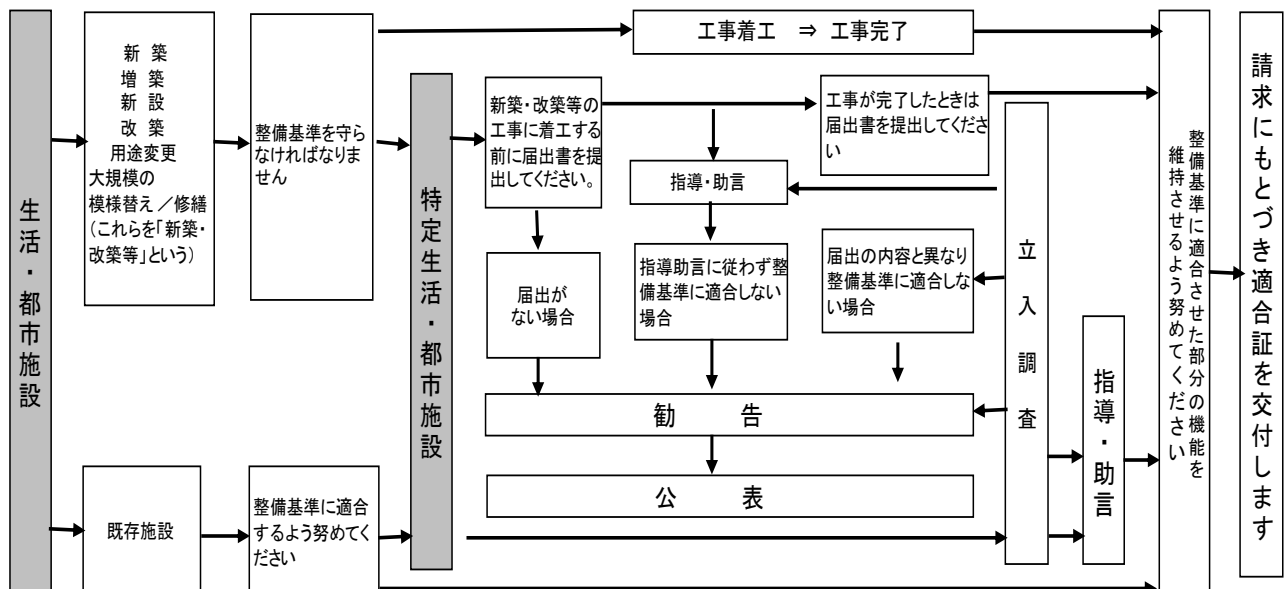
生活・都市施設とは、病院、劇場、集会場、百貨店、ホテル、社会福祉施設、飲食店、学校、共同住宅、その他の不特定かつ多数の人が利用する建築物、公共交通機関の施設、道路、公園などの施設のことです。

生活・都市施設については、新築、新設、増築、改築、大規模の修繕、大規模の模様替え、用途変更をしようとする場合は、高齢者、障害者等が円滑に利用できるようにするために必要な構造及び設備の整備に関する整備基準を守らなければなりません。

●生活・都市施設及び届出が必要な特定生活・都市施設（生活都市施設のうち一定規模以上のもの）

区 分	生 活 ・ 都 市 施 設	特定生活・都市施設の規模等
建築物	集会場、公会堂、公民館	すべてのもの
	老人福祉施設、児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、老人保健施設等	
	博物館、美術館、図書館	
	鉄道等の駅、空港等	
	公衆トイレ	
	官公庁舎、ガス事業者、電気事業者、電気通信事業者の店舗	
	学校	
	地下街	
	病院又は診療所	
	飲食店	患者の収容施設を有するもの
	理髪店、美容院、クリーニング取次店、銀行等のサービスの店舗	用途面積が300㎡を超えるもの
	百貨店、マーケット、物販店	用途面積が500㎡を超えるもの
	劇場、観覧場、映画館、演芸場	用途面積が1,000㎡を超えるもの
	展示場	
	ホテル、旅館	
	体育館、水泳場、ボーリング場、マージャン屋、パチンコ屋等	
	公衆浴場	
	自動車車庫	
	その他の複合施設	
	共同住宅	1棟について50戸を超えるもの
公共交通機関の施設	鉄道の駅、軌道の停留所、港湾旅客施設、空港旅客施設で建築物以外の部分	すべてのもの
道 路	国道、県道、市町村道	
公 園	都市公園、児童遊園、遊園地、動物園、植物園	

整備フロー



整備基準における富山県民福祉条例との相違点

(1) 届け出について

特定生活・都市施設とは、生活・都市施設のうち一定の種類及び規模のものをいい、新築等を行う場合は、工事に着工する日の30日前までに届出が必要です。

(県への届出が必要なものは、原則、市へ届出の必要はありません。)

・県との相違点

建築行為によるもの

県(特定生活関連施設)	高岡市(特定生活・都市施設)
新 築	新 築
新 設	新 設
増 築	増 築
改 築	改 築
用 途 変 更	用 途 変 更
	大 規 模 の 修 繕
	大 規 模 の 模 様 替

(2) 整備基準の考え方

・県基準との相違点

生活・都市施設を5つに区分し、整備基準を定めています。

	県(生活関連施設)	高岡市(生活・都市施設)
区 分	建 築 物	一 般 建 築 物
		300㎡を超える社会福祉施設等
	公共交通機関の施設	
	道 路	
	公 園	

・高岡市独自の基準

① 一般建築物

小、中学校区は、市民のみなさんの生活に密着した身近なコミュニティであり、市内各校を地域福祉活動等の拠点として活用するために

ア. 2階建て体育館に車いす使用者用昇降設備の設置

イ. 車いす使用者用トイレの設置

を進めていきます。

② 300㎡を超える社会福祉施設等

特に、高齢者、障害者等の利用に配慮することが重要であるため、出入口、廊下等、階段、昇降機、トイレ、客室等、敷地内の通路の項目で一般建築物より高度な基準を定めています。

2. 地域総合福祉推進事業(地域総合福祉活動・ケアネット型等事業)

高齢社会の到来や、核家族化の進行等により、地域福祉・在宅福祉の充実がもたれている今日、市民が健やかに生きがいをもって暮らせるよう、地域における様々な福祉ニーズに対応し、保健・医療・福祉等の必要なサービスが適時適切に提供できるシステムづくりが必要です。

このため、本市では、社会福祉協議会と連携し「高岡市地域総合福祉推進事業」を推進し、地域における福祉ニーズの把握と、その処遇方策を検討するとともに、日常的援助活動を行ったり、保健・医療・福祉等の各種サービスを総合的に提供する体制づくりに取り組んでいます。

3. 高岡あっかり福祉ネット推進事業

地域支え合い体制づくり事業

住民にとって身近で日常生活上の活動範囲である小学校区を圏域として、地域における多様な福祉・生活課題を解決するために、自治会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉活動員、高齢福祉推進員がそれぞれの役割と地域の特色を活かしながら連携し、共に支え合う地域福祉ネットワークの構築を目指します。平成28年度は本事業の実施地区として定塚・成美・福岡町地域・下関・木津・川原・戸出・福田・国吉・二上・中田・能町・野村・二塚・佐野・平米・西条・伏木・牧野・立野・太田・博労・横田・小勢・東五位・石堤・守山の27ヵ所を指定し実施しました。

4. 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、すべての地域に配置され、安心して相談できるボランティアです。民生委員は、「民生委員法」によって設置が定められており、「常に住民の立場に立って相談に応じ、および必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めること」が民生委員の理念です。すべての民生委員は、「児童福祉法」によって児童委員も兼ねています。また、民生委員・児童委員の中には、児童福祉を専門に担当し、活動する「主任児童委員」がいます。いずれも任期は3年間です。

本市の民生委員・児童委員は、24地区に378名(うち主任児童委員41名)が委嘱されており、高岡市民生委員児童委員協議会、校下(地区)民生委員児童委員協議会などを通じ、職務に関する連絡、研修を行い、行政機関の協力者として活動しています。

区 分	民生委員・児童委員 定数 (人)	内 容 別 相 談 ・ 支 援 件 数														
		在 宅 福 祉	介 護 保 険	健康・ 医 療	子育て ・母子 保 健	子ども の地域 生 活	子ども の教育 ・学校 生 活	生活費	年金・ 保 険	仕 事	家 族 関 係	住 居	生 活 環 境	日常的 な支援	その他	計
平 成 29年度	378	1,408	286	469	153	1,268	135	256	87	55	284	137	657	4,059	3,631	12,885
平 成 30年度	378	1,190	259	522	161	1,181	194	271	67	37	301	176	488	4,205	3,402	12,454

5. 民生関係団体の育成

区 分	内 容
高岡市社会福祉協議会	P15～ 参照
高 岡 市 保 護 司 会	保護司92名(定員)で構成し、犯罪予防のため世論の啓発に努め、特に青少年犯罪予防について、地域社会の環境浄化に努力しています。 また、保護観察活動を行い、明るく更生するよう指導しています。
高岡市更生保護女性会	青少年の保護育成、並びに保護少年の補導援護や保護司活動に対する援助協力を行い、犯罪予防や明るい社会づくりに努めています。
社会を明るくする運動 高 岡 市 推 進 委 員 会	地域活動の推進による青少年の非行防止と更生の援助を目標に広報、宣伝、街の美化、講演会等を通して社会を明るくする運動を進めています。
高 岡 市 連 合 遺 族 会	本市における戦没者の遺族1,191世帯で構成され、会員の相互扶助、相談、更生等の事業のほか追悼式、慰霊祭等の参拝事業を行っています。
日本赤十字社富山県支部 高 岡 市 地 区	博愛精神を理想として日本赤十字奉仕団を結成し、災害時の応急救助、献血推進事業、日赤社資の募集等を行っています。

6. 高岡まこと銀行(善意銀行)

多くの人々から、善意に基づく金品や技術・労力等の提供をうけ、これを社会の福祉のために供し、あわせて全ての人々の幸せと社会奉仕の精神を高めることを目的として、各種の事業を行っています。

区 分	内 容												
設 立 年 月 日	昭和38年4月1日												
事 務 局	高岡市役所社会福祉課内(Tel 20-1366)												
	<div><div>預託 と 配分</div><div>お金や品物などの寄付、受付を預託といいます。 一般預託は、特に配分先の指定のないもので、理事会の承認を受け、福祉施設や福祉団体など、広く社会福祉事業全般に配分しています。 指定預託や物品預託は、預託者の指定先へ配分しています。</div></div>												
	◎平成30年度預託及び配分状況												
	<table><tr><th>区 分</th><th>金額・数量</th><th>主 な 配 分 先</th></tr><tr><td>一 般 預 託</td><td>22件 589,367円</td><td>・ 各種福祉施設の事業助成 ・ 施設入所者への見舞金 ・ 低所得世帯への見舞金 ・ 福祉団体の活動助成等</td></tr><tr><td>指 定 預 託</td><td>2件 110,000円</td><td>・ 福祉施設へ</td></tr><tr><td>物 品 預 託</td><td>8件</td><td>・ 各種福祉施設、福祉団体へ ・ 生活保護世帯へ ・ 交通遺児へ</td></tr></table>	区 分	金額・数量	主 な 配 分 先	一 般 預 託	22件 589,367円	・ 各種福祉施設の事業助成 ・ 施設入所者への見舞金 ・ 低所得世帯への見舞金 ・ 福祉団体の活動助成等	指 定 預 託	2件 110,000円	・ 福祉施設へ	物 品 預 託	8件	・ 各種福祉施設、福祉団体へ ・ 生活保護世帯へ ・ 交通遺児へ
	区 分	金額・数量	主 な 配 分 先										
	一 般 預 託	22件 589,367円	・ 各種福祉施設の事業助成 ・ 施設入所者への見舞金 ・ 低所得世帯への見舞金 ・ 福祉団体の活動助成等										
指 定 預 託	2件 110,000円	・ 福祉施設へ											
物 品 預 託	8件	・ 各種福祉施設、福祉団体へ ・ 生活保護世帯へ ・ 交通遺児へ											
〔歳末助け合い色紙展〕 県内外の有名画家、書家等の方々から寄贈いただいた色紙を展示し、入札により価格を決定後、販売する。売上収益金は、社会福祉事業に役立てています。													
理 事 会	年2回以上開催し、預託状況の報告及び配分先(金額)等を決定しています。 名誉理事長1名 理事長1名 副理事長1名 理事14名 監事2名												

7. 戦傷病者・戦没者遺族等の援護

- ① 戦没者等の妻に対する特別給付金
- ② 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金
- ③ 戦傷病者の妻に対する特別給付金
- ④ 戦没者遺族戦跡等参拝事業

8. 災害見舞金の支給

市内で発生した災害（火災・水害等）により、罹災した世帯に対し災害見舞金を支給しています。

区 分	内 容					
支 給 対 象 者	高岡市内に住所を有し、生計を一つにしている実際の生活単位の世帯を 対象とします。 (高岡市災害見舞金支給要綱に規定する世帯)					
実 績			平成29年度		平成30年度	
			件数	支払金額	件数	支払金額
		全焼(10万円)	5件	500,000円	1件	100,000円
		半焼(5万円)	3件	150,000円	3件	150,000円
		部分焼(2万円)	4件	80,000円	7件	140,000円
		半壊(5万円)	1件	50,000円	0件	0円
		一部損壊(2万円)	9件	180,000円	0件	0円
		計	22件	960,000円	11件	390,000円

9. 福祉ボランティア活動の振興

健康で生きがいを持ち、心豊かな生活を送るとともに、安心して暮らせる地域づくりを目標に、本市では、保健・医療・福祉の分野でさまざまな公的施策とあいまって多様なボランティア活動が行われています。

高岡市福祉のまちづくり条例に「ボランティア活動の振興」を掲げ、市民と行政のルールをつくり、市民と行政がより連携を深めたまちづくりができるよう努めています。

また、高岡市ボランティアセンター（ふれあい福祉センター内）では、ボランティアグループの登録を行い、市民ボランティアの養成や活動を支援するとともに、福祉教育地域の指定やジュニア福祉活動員の育成、援助を求める人と活動グループをコーディネートする等ボランティア活動の拠点となっています。

平成23年3月11日の東日本大震災においても、多くの方々がボランティアで様々な支援活動をされ、復興に向けての重要な役割を果たしておられます。

少子高齢化や核家族化が進む中、ぬくもりのある地域社会づくりのため、一方では大規模災害の復興支援など、今後ますます重要となる福祉ボランティア活動への市民の参加と支援に努めます。

10. 社会福祉法人 高岡市社会福祉協議会

設 置 目 的	高岡市における社会福祉事業の運営と組織的活動を展開し、地域福祉の推進を図る。
所 在 地	高岡市清水町1丁目7番30号 高岡市社会福祉協議会館内 (Tel 23-2917(代)/Fax 26-2379)
設 置 年 月 日	昭和26年4月1日
設 立 認 可 年 月 日	平成17年5月31日
設 立 登 記 年 月 日	平成17年11月1日
沿 革	平成17年11月1日 福岡町社会福祉協議会と合併 平成22年4月1日 高岡市社会福祉事業団と合併
運 営 施 設	(1) 高岡市ボランティアセンター (2) 高岡市福祉相談センター (3) 社協ホームヘルパーステーション (4) 社協デイサービスセンター (5) 社協居宅介護支援高岡事業所 (6) 社協居宅介護支援福岡事業所 (7) 博労・川原地域包括支援センター (8) 社協特定相談支援事業所 (9) 万葉社会福祉センター (10) 福岡社会福祉センター(こぶし荘) (11) 高岡市東部老人福祉センター (12) 高岡市ふれあい福祉センター

(1) 地域福祉活動の推進

① 高岡あつまり福祉ネット推進事業(市より受託)

地域における多様な福祉・生活課題を解決するために、自治会、地区社協、民生委員・児童委員、福祉活動員等が連携し、共に支え合う地域福祉ネットワークを構築します。

住民アンケートの実施や、命のボトルの配付等地域の福祉課題に応じた取り組みを行っています。
また、実施6年目を迎えた校区から校下(地区)地域福祉活動計画を策定しています。

② 地域総合福祉推進事業(ケアネット型)

支援を必要としている人を、地域の住民でチームをつくり、住み慣れた場所で生活できるよう支えることを目的に実施しています。

平成30年度は150チームにおいて、見守り、話し相手、ゴミ出しといった支援を行いました。

③ ふれあい・いきいきサロン事業

ひとり暮らしや高齢者だけの世帯、外出機会の少ないお年寄りが、福祉活動員、民生委員や地域の方々の協力により、公民館など地域の身近な場所に集まって、会話や余暇活動等を通じて仲間作りを図り、安心して暮らしていける地域づくりを目指すものです。

平成30年度は市内245ヵ所で開催されました。

④ 地域福祉関連研修事業

地域で福祉活動に関わる市民等を対象に、研修会やセミナー等を実施しています。

⑤ 福祉活動員の設置

地域において、身近なところで支援を行う存在として、自治会等の推薦を受けた福祉活動員が活動をしています。

◇主な役割

- | | |
|--------------|-----------------|
| (1)福祉問題の発見 | (2)福祉情報の伝達 |
| (3)近隣の協力者の開拓 | (4)近隣と当事者とをつなげる |
| (5)当事者の仲間づくり | (6)社協事業への協力 |

福祉活動員設置状況

校 区	人 数	活動員の名称	任期	設置開始
平米	70	福祉活動員	2年	H3.7
定塚	82	福祉活動員	3年	H2.7
下関	25	福祉活動員	2年	H7.10
博労	59	福祉活動員	3年	H14.4
木津	38	福祉活動推進委員	2年	H6.4
横田	60	福祉活動員	3年	H5.6
西条	47	福祉活動委員	2年	H4.2
川原	19	福祉活動委員	3年	H7.4
成美	64	福祉活動委員	3年	H5.3
二上	20	福祉活動員	2年	H7.4
伏木	128	福祉活動員	3年	H3.8
戸出	93	福祉活動員	3年	H3.5
中田	45	社会福祉活動員	2年	H4.6
能町	55	福祉活動員	2年	H4.6

(平成30年5月末日現在)

校 区	人 数	活動員の名称	任期	設置開始
牧野	35	福祉活動員	3年	H3.12
野村	75	福祉活動員	2年	H2.9
二塚	22	福祉活動員	3年	H5.6
佐野	21	福祉活動員	3年	H5.6
福田	21	福祉活動員	3年	H5.7
小勢	13	福祉推進委員	3年	H8.8
立野	26	福祉活動員	2年	H7.5
東五位	19	総合福祉活動員	2年	H6.10
石堤	17	福祉活動員	2年	H6.11
国吉	37	福祉活動員	3年	H5.8
守山	19	福祉活動員	3年	H2.4
太田	17	地域福祉活動員	2年	H6.6
福岡	94	地域福祉活動員	2年	H18.6
計	1,221			

(2) 在宅福祉サービス事業

① ホームヘルプサービス事業

要介護者宅にホームヘルパーが訪問し、自立した在宅生活を営むことができるように、身体介護や生活援助及び相談助言を行います。

- ・介護保険法によるホームヘルプサービス事業
- ・介護予防・日常生活支援総合事業による訪問型サービス
- ・障害者総合支援法によるホームヘルプサービス事業
- ・地域生活支援による移動支援事業
- ・介護職員初任者研修の実施

② デイサービス事業

要介護者及び総合事業対象者がデイサービスセンターに通所し、入浴や食事の提供その他機能訓練等を行うことにより、社会的孤立の解消や心身機能の維持を図ります。

- ・介護保険法によるデイサービス事業
- ・介護予防・日常生活支援総合事業による通所型サービス

③ 居宅介護支援事業

要介護状態となっても可能な限りその居宅において、自立した生活ができるよう、介護相談やサービスの調整を行います。

- ・ 要介護認定の申請手続きの代行
- ・ 要介護認定に係る訪問調査
- ・ 介護サービス計画(ケアプラン)の作成

④ 博労・川原地域包括支援センター

市内11ヶ所に設置されている地域包括支援センターの一つとして高岡市の委託を受け、博労・川原校下で暮らす高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して生活していただくため、地域の身近な総合相談窓口として、また介護予防拠点として各種事業を行います。

⑤ 特定相談支援事業所

障がい者の方に対して、障害福祉サービス申請前の相談や、サービス等利用計画の作成、サービスの利用調整を行います。

(3) ボランティア活動の推進

高岡市ボランティアセンターでは、誰もが安心して暮らせる地域づくりに、自ら参加してもらうきっかけづくりとして多様なボランティア活動啓発事業を実施しています。

実施している事業は、「アクティブシニア養成講座」、「ボランティア大学」、「高岡市ボランティア広場」などです。

また、ボランティア活動者やグループの活動拠点として、高岡市ふれあい福祉センター内には、ボランティアプラザ、点訳室、音訳室などがあります。

ボランティア登録数(令和元年7月末現在)

活 動 区 分	グループ数	人 数		
		男	女	合 計
①保健・医療・福祉に関する活動	75	320	3,230	3,550
②文化・スポーツ・国際交流活動	20	213	296	509
③環境保全・交通安全・保健衛生	18	2,445	649	3,094
④特技や専門技術を活かした活動	63	311	848	1,159
⑤被災地における援助活動	0	0	0	0
⑥福祉教育を推進する学校	5	52	112	164
⑦社会貢献に取り組む企業・労組	7	187	133	320
⑧その他のボランティア活動	14	176	1,643	1,819
計	202	3,704	6,911	10,615

(4) 生活を支える事業の推進

①福祉相談センター事業

住民の生活・福祉問題等を受けとめ、問題解決につながるよう相談に応じている。

◇福祉相談

相 談 日：毎週木曜日

相談時間：13:00～16:00

場 所：高岡市ふれあい福祉センター 1階

相 談 員：民生児童委員 24人

・相談件数(平成30年度)

相談事項	件数
1 生計問題	0
2 職業・生業問題	0
3 家族問題	2
4 高齢者福祉	0
5 その他	4
合計	6

②日常生活自立支援事業(富山県社会福祉協議会より受託)

高岡市内で判断能力に不安のある方の福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理のお手伝い、大切な書類などのお預かりサービスを行っています。

常勤の専門員を2名配置しているほか、高岡市内の生活支援員として67名を登録し、契約者宅の定期訪問や当事業の普及啓発に努めています。

③生活福祉資金の貸付(富山県社会福祉協議会より受託)

この制度は、低所得、高齢者、障害者世帯に対し、資金を低利で貸し付けるもので、経済的自立と生活意欲を高め、安定した生活が営めるようにすることを目的としています。

資金の種類は、福祉資金、緊急小口資金、総合支援資金、教育支援資金があります。

④高岡市民生たすけあい基金貸付(高岡市民生委員児童委員協議会より受託)

低所得世帯の生活を援助するため、緊急かつ一時的に必要な資金を貸し付けます。

区 分	内 容
対 象 者	本市に3ヶ月以上居住している低所得世帯に属する生活中心者で、生計などの費用として必要であり、貸付金の返済が確実に認められる場合に貸し付けます。
貸付条件	<p>貸付額・・・一世帯につき3万円を限度 ただし、2万円超の場合は、連帯保証人が1名必要</p> <p>利 子・・・貸付金は無利子。ただし、事務取扱手数料として300円を徴収</p> <p>償 還・・・償還は1年以内で一時払いまたは月賦償還</p> <p>保証人・・・1名(市内に居住する者で、独立の生計を営み、かつ連帯責任を負うに足る身元確実な者)</p> <p>申込み・・・居住地区担当民生委員を通じて、高岡市社会福祉協議会へ申し込む</p>

(5) その他の事業

①心身障害者(児)福祉活動の推進

心身に障害のある子どもたちがおもちゃで自由に楽しく遊ぶことのできる場、また、その中で運動機能や社会への適応力を高めることを目的に、「高岡おもちゃの図書館」(高岡市ふれあい福祉センター内)を開設しています。

②車椅子の貸出事業

高齢者や障害のある方が、旅行や通院で必要になった場合等に、車椅子を無料で貸し出しています。(期間 1ヶ月)

平成30年度 貸出件数 237件

③共同募金運動

社会福祉法人富山県共同募金会高岡市共同募金委員会の事務を行っています。

実施期間 ・共同募金運動 10月1日～12月31日
・地域歳末たすけあい運動 12月1日～31日

(6)福祉センター等の管理運営

平成30年度利用状況

① 高岡市社会福祉協議会館

区分	団体数	人数
地域交流ホール	182	3,194
小会議室	38	272
会議室	86	1,201
和 室	26	391
計	332	5,058

② 万葉社会福祉センター

・センター利用者

区分	団体数	人数
福祉センター棟		
浴室・憩い室		12,709
会議室	571	8,301
ふれあい棟	624	13,268
計	1,195	34,278

・教養講座受講者

教室名	人数
民謡講座	240
ヨガ講座	326
計	566

③ 福岡社会福祉センター(こぶし荘)

(単位:人)

利用者区分	入浴のみ	入浴休憩
一般	12,975	4,513
小学生・幼児	82	1
計	13,057	4,514
合計	17,571	

④ 東部老人福祉センター

・センター利用者 19,900 人

内入浴者数 11,301 人

・教養講座受講者

教室名	人数
民謡講座	181
小物講座	412
陶芸講座	276
華道講座	-
書道講座	163
カラオケ教室	1,050

教室名		人数
手創りのあかり講座		79
折り紙講座		382
絵手紙講座		91
短期講座	エコクラフト	127
	しめ飾り作り	8
計		2,769

◇ 高岡市ふれあい福祉センター（愛称：高福^{こうふく}センター）

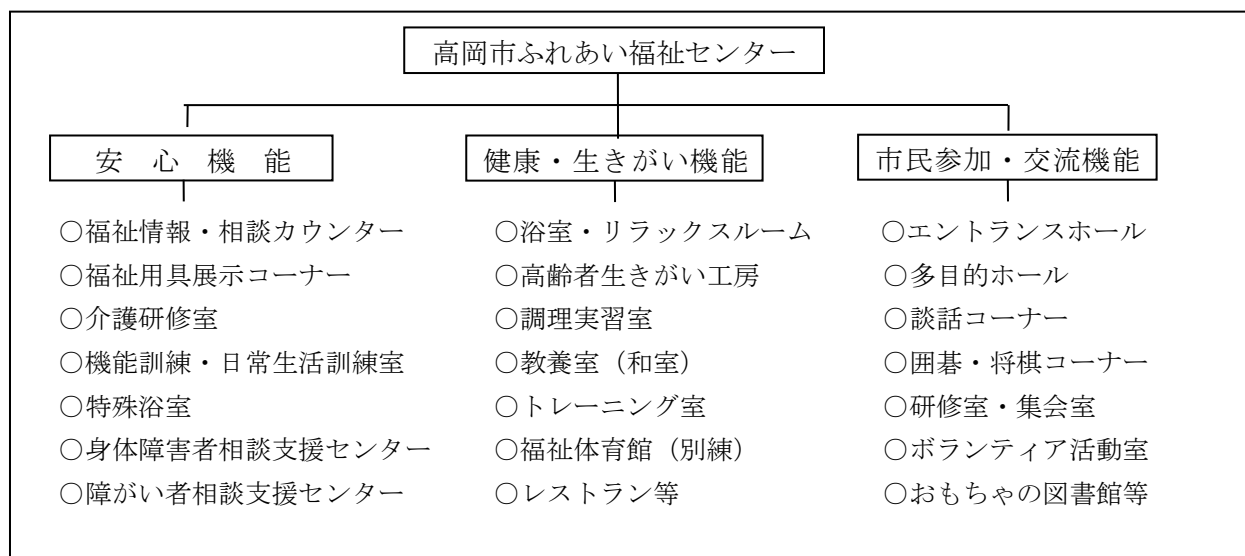
高岡市ふれあい福祉センターは、ノーマライゼーションの理念のもとに、高齢者や障害者等の福祉保健の増進と市民の地域福祉活動の推進を図ることを目的としています。

このため、当センターの基本方針に基づき、「安心」「健康と生きがい」「市民参加・交流」の三つの機能を備えた“福祉のまちづくりの拠点施設”としての役割を果たすため、各種事業の充実に努めるとともに福祉関連の団体等が、当センターの機能を有効に活用できるよう支援を行っています。

設置年月日	平成8年6月29日
設置場所	高岡市博労本町4番1号
設置者	高岡市
指定管理者	社会福祉法人高岡市社会福祉協議会
施設規模	鉄骨鉄筋コンクリート造り 地上2階（一部地下1階） 敷地 16,708 m ² （博労公民館敷地含む） 延床面積 6,903 m ² （本館、福祉体育館、車庫棟、自転車置場）

◆ 高岡市ふれあい福祉センターの基本方針

- 「安心機能」……………福祉保健の情報提供・相談の窓口の設置
- ・障害者の自立と社会参加を促進
 - ・障害者のデイサービスの支援
- 「健康と生きがい機能」……高齢者や中高年等の健康づくり
- ・生きがい創造、能力活用等による心身のリフレッシュ
- 「市民参加・交流機能」……福祉保健学習等の推進とノーマライゼーション理念の普及、啓発
- ・福祉保健ボランティア活動の支援



◆ 利用状況等（平成 30 年度）

（１） 入館者数等

開館日数	総入館者数	1 日平均入館者数
293 日	216,486 人	739 人

（２） 高齢者教養講座

（単位：人）

講座名	パソコン	自彊術	陶芸	ヨガ	篆刻	料理	書道	絵手紙	合 計
参加人数	89	213	175	56	229	142	44	40	988

（３） 身体障害者教養講座

（単位：人）

講座名	書道	陶芸	パソコン	絵手紙	合 計
参加人数	21	0	16	16	53

（４） 障害者スポーツ教室

教 室 名	参加人数
卓球教室（視覚障害者）	49 人
フライングディスク教室（身体障害者）	251 人
車椅子ツインバスケットボール教室	97 人
ビーチボール教室（聴覚障害者）	54 人
合 計	451 人

（５） 在宅障害者音楽活動支援事業

登録団体	実施回数	参加人数
7 グループ	49 回	822 人

（６） 福祉保健情報・相談提供事業

（単位：件）

相談内容	情報提供	看護・介護 相 談	健康相談	福祉用具 相 談	その他	合 計
相談件数	181	42	5,139	865	10	6,237

(7) 福祉用具展示

展 示 用 品	種 類	展示数
治療訓練用具	褥瘡予防装置、マットレス、クッションほか	9
パーソナルケア関連用具	衣類、下着、便座、トイレ用品、おむつ、入浴用補助具ほか	103
移動機器	車椅子、車椅子用品、歩行車、歩行器、杖ほか	50
家事用具	食事用具（箸、スプーン）、食器ほか	39
家具・建具、建築設備	電動ベット、スロープ、手すり、昇降機、握りバーほか	16
操作用具	スプーンホルダー、すべり止めマットほか	8
その他		1
	総展示数	226

(8) 高齢者等入浴サービス事業

浴室利用日数	総利用者数	1日平均利用者数
292 日	12,517 人	43 人

(9) 貸室事業 (利用者数)

(単位：人)

多目的ホール	介護研修室	研修室 102	研修室 201	研修室 202	集 会 室	陶 芸 室
27,074	3,806	4,386	5,344	5,416	9,469	1,654
パソコン室	教 養 室	調理実習室	トレーニング室	福祉体育館	合 計	
4,120	2,216	2,194	3,883	13,117	82,679	

(10) 地区巡回バス運行事業

当センター利用者の利便を図るため、郊外地区を巡回運行している。

運行日数	利用者数	1日平均利用者数
243 日	2,662 人	11 人

※雪のため運休 7 日

(11) 福祉バス運行事業

障害者の自立と社会参加促進を図るため、障害者の団体活動における移動手段を提供する。

運行回数	利用者数	1回平均利用者数
60 回	1,330 人	23 人

・費用 燃料費・有料道路料金等は利用者負担